



岩戸神社は雲仙市瑞穂町の森の中にある。樹齢を重ねた木々に囲まれた水源の森を進むと、そこに広がっているのは驚くほど神秘的な世界。まるでそこだけ時が止まっているかのような、静謐な空間が目の前に現れる。境内では毎年、四月十八日に春祭りが行われ、地元の人たちが集まって神事を行うという。

春祭りの日、すぐそばの「岩戸観光ガーデン」では、そうめん流しが始まる。春から夏にかけて、こちらで楽しめるのは、とても珍しい森の中でのそうめん流しだ。

島原半島の特産品といえば「島原手延そうめん」。一説によると、一六三七年に起きた島原・天草一揆の後、瀬戸内海の小豆島などから移住してきた人々によって作り始められたといわれており、この地では手延べの技術が伝承されてきた。

岩戸観光ガーデンは暑い夏でも、空気がひんやりとしている。その中でセミや鳥の鳴き声と川のせせらぎの音に包まれて、そうめん流しを思いっきり楽しむ。冷たい湧水の中を流れるそうめんは涼しげで、夏バテも吹き飛んでしまうほど。地域で収穫された岩戸米のおにぎりや、ニジマスの塩焼きと一緒にいただく。

岩戸観光ガーデンの営業は九月末まで。その期間、涼を求める人たちが賑わい、敷地内にある水くみ場には容器を持った人がひっきりなしに訪れ、水辺では子どもたちの笑い声が響き渡る。そこでは、ただただ楽しい夏の一日が待っている。

湧水でいただくそうめんは、島原半島の恵みそのもの。ツルンとしたのがごしがたまらない美味しさ。

夏



自然の中で
涼と美味を

味わいつくす。島原の そうめん流し

岩戸神社

